

令和4年度 福岡県中学校新人軟式野球大会要項

1. 大会名 第39回 福岡県中学校新人軟式野球大会
2. 主催 福岡県中学校体育連盟 福岡県教育委員会
北九州市・福岡市教育委員会
全日本軟式野球福岡県連盟
3. 主管 北九州市中学校体育連盟
4. 後援 (公財)福岡県スポーツ協会 (公財)北九州市スポーツ協会
(公財)福岡県スポーツ振興センター
5. 期日 令和4年 11月26日(土) 第1日目 競技開始 9時30分
11月27日(日) 第2日目 競技開始 9時30分
12月3日(土) 予備日
6. 会場 第1日目 大谷球場
的場池球場
若松球場
桃園球場
第2日目 大谷球場・桃園球場
予備日 大谷球場・桃園球場
7. 参加資格 福岡県新人体育大会開催基準及び「特別規定」による。
8. 参加制限 福岡3・北九州3・筑豊3・筑後3・筑前3・京築1 (計16校)
9. 競技方法 トーナメント方式
10. 競技規則
 - (1) 2022年度公認野球規則並びに全日本軟式野球連盟競技者必携及び別に定める大会取り決め事項による。尚、投手の投球制限については、大会中の投球数を「1日100球まで」とする。試合中に100球に到達した場合は、その打者が攻撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。
 - (2) 使用球:公認のM号球
 - (3) 引率・監督は、出場校の学校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員(部活指導員含む)とする。但し、教育職員(部活指導員含む)以外のコーチは学校長が認め、県中体連に登録し承認を受けた者とする。
 - (4) 審判員:全日本軟式野球福岡県連盟北九州支部及び福岡県中体連軟式野球専門部員
 - (5) ベンチに入れる者は、選手18名(スコアラーを含む)、引率教師、監督、コーチの計21名以内とする。
 - (6) 背番号:全選手は守備順に背番号を付け、監督は「30番」を付けること。
 - (7) 試合回数・その他
 - ① 試合回数は7回とし、準決勝戦までは5回以降7点以上の差があるときはコールドゲームとする。
 - ② 延長戦は行わず、8回から10回までをタイブレーク方式とする。継続打順で前回の最終打者を1塁走者とし、2塁の走者は順次前の打者とする。すなわち無死1塁2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、更に継続打順で得点差が生じるまでこれを繰り返す。なお、規定によって認められる選手の交代は許される。10回終了までに勝敗が決しない場合は、最終出場選手9名全員による抽選によって決定する。ただし、決勝戦は、勝敗がつくまでタイブレークを続けるものとする。
 - ③ ノックは7分間とする。ノッカーはユニフォームを着用すること。
 - ④ 抗議権を有する者は、監督・主将および当該選手とする。
 - ⑤ 使用できるバットは、JSBBのマークがついているもの及び木製バットとする。
 - ⑥ イニングのインターバル中に行う投球練習を受ける捕手は防具を装着することとする。但し、控え捕手がいらないなど特別の事情がある場合、他の野手が立って受けることを認める。
11. 参加料 参加選手一人につき600円とする。(大会当日の学校受付時に徴収する。)
12. 表彰 優勝・準優勝・3位(2校)を表彰する。

令和4年度福岡県中学校新人軟式野球大会

大会取り決め事項

- 1 選手の手袋の着用（白または黒）は認めるが、リストバンドの着用は禁止する。
- 2 監督・コーチ及び選手のサングラスの使用を原則禁止する。
- 3 競技場内へは、監督・コーチ・引率教師及び登録選手以外の入場を禁止する。（ただし、試合前のノックに限り、ユニフォームとヘルメットを着用した補助生徒を5人まで入場させることができる）
- 4 試合終了後の挨拶で全て終了とし、次の試合のためベンチを速やかにあける。
- 5 メンバー用紙交換（メンバー用紙5通持参及び攻守の決定を次のようにする）。
 - ・一日目：第一試合 8：50 第二試合 第一試合4回終了時 第三試合 試合開始20分前
 - ・二日目：準決勝 8：50 決勝 試合開始20分前
- 6 攻守交代は全力疾走で行い、先頭打者とランナーズコーチは、直ちに所定の位置に着くこと。
- 7 メガホンは監督のみ使用することができる。
- 8 本塁打を打った打者に握手を求めるため、グラウンドに出て来てはいけない。
- 9 中学生らしくない危険なプレーは行わない。
例・タッチしようとする野手へ故意に体当たりしようとする事。
- 10 「ヤジ」は絶対に慎む。すばらしいプレーには、相手チームであっても拍手を送りたい。
- 11 応援団（保護者も含む）は、次のことを守り、各チームの顧問が責任を持って指導すること。
 - ・ 紙吹雪、テープ、個人名を書いたのぼり等を禁止する。
 - ・ 相手チームをヤジったり、相手チームが不利を招くような応援はしない。
 - ・ 指定された応援席から離れて応援しない。
 - ・ 応援席及び会場周辺を散らかさない。
 - ・ 太鼓等の鳴り物での応援は禁止する。
 - ・ ペットボトルでの応援は禁止する。
 - ・ まとまった応援はベンチよりも外野側で行うこととする。
- 12 選手の身なり等は中学生らしく、試合中は勿論のこと試合前後においても、スポーツマンらしく、マナーには十分留意すること。
- 13 ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。
- 14 選手の交代の申し出は監督又は主将が行う。
- 15 野球規則 5・10(l)（1イニングに投手へのアドバイスのためタイムが2回とられた場合、自動的に投手交替となる。）を適用する。但し競技者必携「競技に関する特別規則四」に従い、他の守備位置につくことができる。
- 16 投手の投球制限を設ける。1人の投手が1日100球を越えて投球することを禁止し、100球に到達した場合、速やかに投手を交代させること。なお、打者との対戦途中で100球に到達した場合は、その打者が攻撃中に攻守交代となるか、打撃を完了するまで投球できる。牽制球は、投球数に含まない。
※同一日に2試合行って球数を持ち越す場合、本部とベンチでズレがあった時は原則、本部に準ずる。
- 17 タイブレイクでのタイムの回数制限については、1イニングに1回タイム（監督タイム・攻撃タイム・守備タイム）をとることができる。
- 18 連続して試合を行う場合は、40分間の休息時間を確保することを原則とするが、天候によって本部で判断するので、この限りではない。
- 19 登録選手の変更は、各校の第1試合の開始前のみとする。それ以外の変更は認めない。
- 20 ネックレス・ブレスレット等の装着は禁止する。
- 21 試合前の安全マナーチェック【①爪②装身具（首輪・腕輪・ピアスなど）③その他（協議の専門性に係る事項）※服装・身なりについては、各学校の校則に準じて事前に確認する。】で問題があった場合は北九州地区会長が規律委員会の招集を行い確認する。
- 22 イニングのインターバル中に行う投球練習を受ける捕手は防具を装着することとする。但し、控え選手がいないなどの特別な事情がある場合、他の野手が立って受けることを認める。
- 23 合同チームで参加する場合に、それぞれの学校のユニフォームを着用することができる。ただし、監督を含め同じ背番号はつけてはならない。
- 24 タイブレイクに入った場合（7回終了時）にグラウンド整備を行う。全選手は一旦ベンチに戻ることに。
- 25 次打者席には必ず次打者選手がいること。
- 26 シートノックは守備練習であるからマウンドでの投球練習は認めない。

27 新型コロナ感染症拡大防止の観点より、プレーをしない選手やベンチ内では、マスクを着用すること。また、マスクを外し、円陣を組むなどの行為は禁止とする。ただし、シートノックやプレー中は、この限りではない。なお、ベンチや会場への出入りの際は、必ず消毒を行うこと。

○12, 20秒ルールはなし

○天候等による大会の実施の可否、試合の中断および日程の変更は、大会本部で決定し、連絡する。但し、中断時間は原則、90分までとする。降雨によるコールドゲームは、5回以降の場合は試合成立とし、同点の場合かそれ以前は、継続試合とする。また、投手の球数においても継続とする（前日に試合を行ったすべてのチームに適用される）。

○選手申し込みは原則、事前の申し込み用紙をもって登録とするが、コロナ感染によって登録選手の入れ替えがある場合は当日のメンバー用紙の登録をもって認めることもある。

※背番号18番を超える選手のベンチ入りを認めることもある。